

支払いのうまい下手はレジ前での振る舞いに表れる。マナー違反の例をいくつか挙げよう。

よく目にするのがレジ前で割り勘の計算を始めること。職場の飲み会では役職や年齢などに応じて支払額に差を設けるケースが多い。個々の事情に配慮しながら分担額を計算するのは酒が回った頭では結構つらい。あらかじめ集金するか、後日精算するか、しっかりと幹事が取り仕切ること。

一人ひとりが自分の分だけレジにお金を出すのも避けたい。だれかが計算間違いをして少なかったり、多かったりすると店が困る。

取引先などとの飲食の場合、「私が払う」「いいえ、私が…」などとどちらが払うかで互いに譲らない場面を見かける。こんなとき店の人は笑顔を見せながらも内心「どちらでも良いから早く払って」と思っている。レジ前まで引きずらず、もっと早めに調整を済ませておくべきだ。

年末年始はこの店もいつも以上に混雑する。レジ前で時間を取るのは店側だけでなく、支払いを待つほかの客にも迷惑だと心得ておこう。

(マナーデザイナー)

岩下 宣子

二〇〇の項おわり

## レジに行く前に調整を

### 飲食の勘定

⑥